

□ J P A 震災情報（第 11 報）-----2011.3.23\*  
-----

本日、三度目の情報です。各団体でお役立てください。（水谷）

**【情報提供】**

○チラージン S（甲状腺機能低下症などに対する薬）についての続報

参議院議員田村智子議員室の岩藤さんからの情報です。

（以下、メール全文）

チラージン S ですが、3月18日に厚生労働省から既報の回答を頂いていますが（一部のみ  
なさんには送付済み）、その後、さらに以下の情報を得ましたので送付します。

1、あすか製薬の工場が4月中旬に再開する見通し。現在流通在庫は0.7ヶ月。

（Q これだと4月中旬まで間に合わないのでは？）

流通在庫に加えて被災工場にある社内在庫を出せないか検討中。さらにあすか製薬から原  
剤を使った委託生産とサンドの緊急輸入で何とかなるのではないかと考えている。委託先  
のこともあるので名前をあかせないが、あすか製薬の保有する原剤を使った委託生産の交  
渉も順調と聞いている。販売をおこなっている武田薬品に対しては買い占めをおこなう医  
療機関がでないように「真に必要なところに販売を」という依頼を行っている。（医政局経  
済課回答）

2、サンドからの輸入をおこなおうとしている製剤はサンドが国内で製造している薬剤と  
添加剤の違いと承知している。輸入承認をしている時間もないので、特例的に、不足して  
いる期間中に限り、サンドが持っている製造承認の範囲で輸入を認められないかと調整し  
ている。

（医薬局審査管理課回答）

ということでした。取り急ぎ連絡します。

**【患者団体からの連絡・情報】**

○NPO法人日本プラダー・ウィリー症候群協会-----\*

（事務局長の庄司英子さん）

被災者のみなさまに心からお見舞い申し上げます。

あまりの被害の大きさに言葉も見つかりません事をお許し下さい。

この度は、インスリンについて、大変貴重な情報を有り難うございました。インスリン  
は糖尿病を持つPWSの人たちの命にかかわる事なので、とても心配しました。

当協会では、お陰様で、昨日のことでしたが、岩手宮古の会員さんで全く連絡が取れず心  
配していました。役員らで手分けして探していましたが、連絡のとれた岩手の医師（協会

の先生)にお願いし、保健師さんが現地まで尋ねて下さり、ご家族の無事が分かり、やっと安堵致しました。

東北の会員さんが、かなり被害を受けられたことで、私の方もとても辛い気持ちであります。

どうぞ、今後とも宜しくお願い申し上げます。

○NPO法人 日本炎症性腸疾患協会 (CCFJ) -----\*

(事務局の岩橋さん)

被害の状況が分かればわかるほど、本当に今回の災害のひどさが浮き彫りになりますね。弊会も、いただきました情報をホームページに掲載させていただいております。

URL : <http://www.ccfj.jp/>

\* CCFJ のホームページには、被災地域の医療機関情報、腸疾患に関連する薬の供給状況などの具体的な情報が掲載されています。

(水谷)

○一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会-----\*

(事務局長の下堂前さんから、事務局通信「ハットはあと」臨時号)

#### ■ 被災地情報

青森県支部の会員さんは無事です！青森県支部支部長・久保田さんから支部の会員の方はみなさん無事だという連絡をいただきました。

#### ■ 被災地の小児心臓病患者の医療機関の受け入れについて—— 日本小児循環器学会の対応についてうかがいました

この間、守る会各支部から、震災地域からの受け入れ対応が、全国の小児循環器の専門医療機関で対応できる体制がどの程度進んでいるのかそれぞれ先生に聞いていただきました。各病院では、学会の方からの連絡があり、各々の医療機関の状況にあわせた受け入れ体制をすすめているとのことでしたので、日本小児循環器学会の理事長の東京女子医科大学循環器小児科の中西敏雄先生に、本部事務局からお電話をしました。対応としては、次のようになっているとのことでした。

- 学会で受け入れ施設の一覧はまとめてあるが公開はしない。

すべて、情報は東京女子医大の中西先生に集中して、先生が個々の患者さんに応じた適切な医療施設で対応をできるようなシステムになっている。対応地域は、関東近辺および全国の基幹病院（小児循環器の対応できる病院）。

- まずはかかりつけ医師へ相談をして、その医師から中西先生に連絡がくるようになっている。何らかの事情でかかりつけ医にかかれなない場合は患者から直接、中西先生に連絡をしてもらうこと。中西先生の方で、患者の重症度の応じて、地元の中核病院を紹介したり、

へりなどでの搬送をして対応できる病院への搬送を行う。

- 他県に避難をしてきている方々での小児循環器病患者への対応はまだこれから。
- 東京女子医科大学病院 代表 03-3353-8111 (循環器小児科・中西敏雄先生へ)

■ 支部を通じて病院の情報をうかがいました

支部からも、各地の医師へ話をうかがってもらいました。

<埼玉県支部 (吉田奈央子さん) より

埼玉小児医療センター・小川潔先生へ>

▼メールにて連絡 小川先生からの返信

入院については、日本小児循環器学会が関東を中心とした受入れ可能施設一覧を作製し、東北地方の小児循環器専門施設に送ってあります。埼玉県に避難中の患者さんについてはまだ決めていませんでした。当センター、埼玉医大国際医療センター、自治医大さいたま医療センターが受け入れることになると思います。個別連絡していただければ対応しますが、各施設と連絡をとってみたいと思います。(避難されている人を収容している)さいたまスーパーアリーナでは交代で診療を行っております。処方も行っております。日曜日には小生もお手伝いしてきました。

追伸...埼玉医大国際医療センターの小林教授、自治医大さいたま医療センターの市橋教授には事情を伝えておきました。埼玉には福島県からの避難者がほとんどで、岩手や宮城の被災者のような着の身着のままというわけではなく、とりあえず一次診療機関への受診は可能と思います。さいたまスーパーアリーナでも酸素ボンベをいっぱい持った方もいらっしゃいました。

<新潟県支部 (今井春子さん) より

新潟大学医歯学総合病院・長谷川聡先生へ>

From: IMAI To:新潟大学医歯学総合病院 長谷川先生

Sent: Tuesday, March 22, 2011 8:25 AM

▼メールにて連絡

緊急時でお忙しいところ申し訳ございません。取り急ぎ、確認したいことがありまして、ご連絡いたしております。福島県より多くの方が、新潟へ避難されていますが、なかには心臓病の子どももいることと思います。新大病院にて、カルテなし、紹介状なしで受診できますでしょうか?受診の際にはなにか気をつけることがありますでしょうか。今後、会本部に保護者よりの問い合わせに応じるため、近隣県で確認を始めています。お忙しいところおそれいりますが、「診てる」の一言で結構ですので、お返事くださいますようお願いいたします。

▼長谷川先生からの返信

メールの件、御尽力ありがとうございます。もちろん何の問題もありませんので、紹介状なしでも受診していただいて結構です。

ただ、せっかく来られてもカテ中などで対応できないと申し訳ないので、もし余裕があるようでしたら、前もって電話で連絡をいただくと助かります。

小児科外来 025-227-2561

(できれば 14-16 時の間だとありがたいです)

新潟大学医歯学総合病院 小児科 鈴木博、長谷川聡 拝

<静岡県支部(榎本歌子さん)より静岡県立こども病院へ>

▼静岡県立こども病院

協力の話は来ていて体制はとれている。医師からの紹介してもらうのがいいが、どうしてもというときには守る会を通じて連絡をください。(本部事務局が窓口)

<栃木県支部(川田昇さんより)>

▼自治医科大学・とちぎ子ども医療センター

受け入れ体制がとれています。 小児・先天性心臓血管外科 河田政明先生  
病院、医療費、その他の情報は、守る会のホームページ(PC、携帯)に随時更新して  
います。会内外むけに活用してください。

PC [www.heart-mamoru.jp](http://www.heart-mamoru.jp)

モバイル <http://www.heart-mamoru.jp/mobile/>

☆各疾病団体の取り組みや情報を、JPA事務局にお送りください。

\*-----\*